

11/5 総務省働き方改革セミナー～『働く、が変わる』テレワーク

鳥取県のワーケーションの取り組み

2020.11.05

鳥取県ふるさと人口政策課

関係人口推進室長 岡本 圭司

テレワークから可能性が広がる

～ 在宅から地域へ、地方へ、広がる可能性

在宅でのテレワーク

“場所”の代替

都市内のコワーキング

都市内での交流

ワーケーション

非日常・交流の多様化

地域とのコラボレーション
双方向的な刺激と創造

ワーケーションの類型

① 長期休暇中に旅先で勤務する。
欧米型のワーケーション

② 休暇取得促進のため旅先での勤務を認める。
日本の“働き方改革”としてのワーケーション

③ 勤務の一環として地方で研修・ワークキャンプする。
企業主導型の成果重視型のワーケーション

④ 都市の過密を避け、地方に滞在し働かせる。働く。
オリンピック・新型コロナを受けた“新しい生活様式”対応

⑤ オフィスや時間、一つの仕事に縛られずに働く。
自律的な働き方、複業・兼業

⑥ 住む場所を変えながら働く
“Adress Hopper”

※鳥取県担当課における整理

ワーケーション2.0を実現できるか？

	Workation 1.0	Workation 2.0	Woraktion 3.0 & α
コンセプト	For workers	With workers	By themselves
キーワード	User Experiences	Collaboration	Empowerment
滞在期間	単発・短期間	継続的な来訪・滞在	長期滞在・居住
地域からの目線	消費する人	パートナー	境界の消滅
位置づけ	観光客	関係人口	住民
観光との関係	代替・穴埋め	再定義	脱却
仕事との関係	生産性向上・効率化	創造・刺激	(生活との) 融合

上平崇仁（2016）「デザイン態度論」を参考に松下が作成

関西大学社会学部 松下慶太教授講演資料から抜粋

鳥取県がめざすもの

鳥取県がめざすワーケーション

地域と企業・人財が“つながり・成長”

- 県が地域とのつながりをサポート
 - ・ ワーケーションコンシェルジュ
 - ・ 地域交流・親子ワーケーション支援
- 企業人材の学び・成長へ
 - ・ ラーニングワーケーションの推進



首都圏・関西圏に飛行機、鉄道で直結

～ 意外に“近い”鳥取県

【東京から】

羽田空港～鳥取砂丘コナン空港 約75分

(鳥取駅まで連絡バス20分)

羽田空港～米子鬼太郎空港 約80分

(米子駅まで連絡バス25分)

【大阪から鉄道で】

大阪～鳥取 約2時間20分

(JR西日本・智頭急行「特急スーパーはくと」利用)

大阪～米子 約3時間10分

(JR西日本 新幹線・特急やくも利用)



雄大な自然とまちが隣り合う

～ コンパクトな県に魅力がいっぱい。

鳥取砂丘、大山の雄大な自然
と豊富なアクティビティ

温泉で体も心もリラックス
女性のストレスオフ県1位！

松葉がに、和牛・・・
食材豊かな“食のみやこ”



鳥取での副業・兼業 に全国から注目

- 全国からプロフェッショナル人材の副業兼業を“週一副社長”として募集
- **14人の副業求人に
約1ヶ月で1363人が応募（2019）**
2020年も募集開始から6日間で588人が応募



鳥取で自分らしく“暮らす”

～ 人の絆豊かな地で ゆったりとした時を楽しむ ～



森のようちえん まるたんぼう



カヌーガイドをしながら働く橋本さん

魅力豊かなワーケーション拠点

～ 鳥取で新たな働き方・暮らし方を体験 ～

地域企業や住民との交流の場
隼Lab



中四国初のキャンピングオフィス
OOE VALLEY STAY



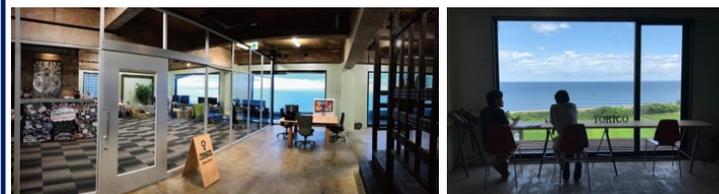
麒麟Square（鳥取市）

鳥取駅周辺の交通の利便性が高いエリアに所在。企業・団体等でのワーケーション拠点としての利用が可能



TORICO（大山町）

人をつなぎ、事業を創造するコラボレーションオフィス。7月1日、海沿いのレストランの2階にオープン。



SUIKOWORK CAMP（倉吉市）

グランピングをテーマにした倉吉ではじめてのコワーキングスペース。都市部の複業ワーカー団体の拠点。



サテライトオフィス東光園（米子市）

皆生温泉の老舗旅館「東光園」施設内に開設。温泉観光と併せたワーケーションが可能。



市町村におけるワーケーションの取組の充実

- 取り組み市町村は徐々に充実（11/19市町村が推進を表明）
 - 受け入れ地域、プログラムづくりに注力
- ⇒ **連携により、県全体の魅力を向上**

鳥取県内市町村のワーケーション取組状況



地域とのつながり形成をサポート

～ ワークেশョンコンシェルジュ

- ・鳥取県が、地域の企業・団体・人材等との交流や協働をサポート
⇒ **コミュニティの形成、プロジェクトへの発展も**

(活用例)

○日本能率協会マネジメントセンター

- ・地域教育機関・団体等との連携によるプログラム作成



○一般社団法人ワークデザインラボ

- ・地域企業・自治体・教育機関との連携

⇒ **地域との連携による新規プロジェクトへ**



ラーニングワーケーションの推進

～ 日本能率協会マネジメントセンターと協定締結

鳥取大学乾燥地研究センターの協力により 地域に学ぶ、交流するプログラムを制作



鳥取砂丘でサステナビリティを考える

#世界から人が集まる研究拠点 #サステナビリティ #砂漠化

地球環境変化という課題に最前線で挑戦を続ける専門家との交流を通じて
地球規模で起こっている事実への理解を深め、自分は何ができるかを考える

鳥取県鳥取市（地球環境）

DAY 1 「鳥取砂丘」	DAY 2 「乾燥地研究」	DAY 3 「砂漠を語り合う」	DAY 4
移動	テレワーク	テレワーク	オプション (企画中)
鳥取砂丘を 深く知る	乾燥地の 「良い面」と「悪い面」	自身と砂漠に向き合う 内省の時間	
交流会	かんがい 灌漑研究最前線	研究者との対話 (地域交流の場)	移動



日本能率協会マネジメントセンターHPから抜粋

地域の課題解決を行う企業・団体を応援

～ 地域活動応援事業費補助金

- 県内地域の安全・安心な地域づくりや地域活性化など課題解決の取り組みを支援
(補助率1/2 上限額30万円)

⇒ 地域貢献、課題解決型ワーケーションへの活用も



※R2とっとりプロボノ

地域との交流・ 親子ワークショップを応援

- ・ 砂丘での除草活動、地域の企業との交流など
地域交流、地域貢献を含むワークショップを
行う企業・団体の宿泊費の1/2を支援
- ・ 子ども同伴の場合は子どもの宿泊費も対象
※補助上限 1 団体 75千円



※写真はイメージです

交流拠点・プログラム作りを支援

ワーケーション拠点整備支援

- ・ 仕事や交流の拠点を設置する企業・団体を支援
〔対象〕 改修・運営及び利用促進のためのイベント等開催費
〔支援額〕 最大600万円（補助率1/2、2年間利用の場合）

ワーケーション型研修プログラム造成支援

- ・ 本県の実環境等を生かし、都市部との関係を深めるプログラムを支援
〔対象〕 プログラム開発に係るスタッフ旅費
〔支援額〕 最大60万円（補助率1/2）

鳥取県でのワーケーションについてのお問い合わせは

鳥取県ふるさと人口政策課 関係人口推進室 へ

電話	0 8 5 7 (2 6) 7 1 2 8
E-mail	jinkouseisaku@pref.tottori.lg.jp